

# KIJO

No. 131

発行所: 宮崎県木城町議会  
発行日: 令和3年1月18日  
印刷: 株式会社 宮崎新生社印刷

コロナに負けるな!



- ◆ 臨時会報告 ..... 3
- ◆ 定例会報告 ..... 4
- ◆ 一般質問(4名登壇) ..... 7
- ◆ 議会活動報告 ..... 11
- ◆ 木城っ子の活動写真 ..... 12
- ◆ まちの話題 ..... 14

木城小・中学校  
持久走大会・校内駅伝・ロードレース大会の様子

# あけましておめでとうございます 本年もどうぞよろしくお願いいたします



議長 かんだ 神田 なおと 直人

新年あけましておめでとうございます。  
新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルスの拡大は依然としてとまりません。亡くなられた方に対してお悔やみ申し上げますとともに、感染された方々に対し、お見舞い申し上げます。

また、日夜大変な思いをされている医療関係者の皆様に対しては感謝の言葉しかありません。今は忍耐の時ではありますが、早く感染が収束して元の生活に戻る事を願っています。議員として、新型コロナウイルス収束後の復興も大事な仕事とと思っています。町民に寄り添いながらできることを考えていきたいと思えます。

昨年、議会に対して厳しいご意見もありましたが、真摯に受け止め、今後の議会運営に活かしていきたいと思えます。

高齢化の問題、人口減少の問題、最近深刻となっている防災の問題等取り組むべき問題は多々ありますが、議員全員でしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

今後とも議会に対してご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 木城小・中児童・生徒の1人1台PC購入を決定

令和2年第6回臨時会は、11月4日の1日間の会期で開催されました。第4回臨時会で議決された補正予算に計上された「木城小・中学校情報機器購入事業」で購入する情報端末等の「財産取得について」の1議案を、全員賛成で可決しました。

◎「木城小・中学校情報機器購入事業」とは、国が推進するGIGAスクール構想に伴い、文部科学省補助金（1

／2）を原資として、木城小・中学校の児童・生徒に1人1台のパソコン端末を整備する事業のことです。

\*臨時会上程の議案につきましても、委員付託の省略となつたため、委員会審査は行われませんが、議案に対する質疑は行われましたので、一部ご紹介します。

Q 入札に参加した業者の件数は。

A 3社である。

Q 機器等の保守委託料はいくらか。

A 1年間の機器の保証はあるため予算は組んでいない。

Q 今後学校が新型コロナウイルスで休校になつた時、家庭での使用を考えているか。

A 家庭での環境（通信）整備が必要になつてくると思うので、今後、双方向でやることも検討していきたい。

Q 現場の先生が、機器及びソフト部分について、十分な講習等を受けているのか。また、機器導入によって負担が出てくるのではないか。

A システム及びPC等のスキルが大きな課題。県教育委員会とともにスキルアップを高め、いきながら、単なる技術としてではなく、活用することと児童・生徒の理解度が増し、教員も教えやすくなるなどうまく活用できるようにしていきたい。



## 議員報酬等（期末手当）の減額を決定

令和2年第7回臨時会は、11月26日の1日間の会期で開催されました。今回は、人事院勧告に伴い常勤の特別職（町長、副町長等）、議員、一般職等（会計年度任用職員を含む）の期末手当を、0.05月分減額する条例3議案を、全員賛成で可決しました。

### ◆全員賛成で可決した議案等

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

# 補正予算主な事業

令和2年度 ふるさと納税額の実績  
**5億3,600万円** (令和2年11月30日現在)



歳入(ふるさと納税寄付額) 2億6,400万円  
※今後の見込み  
歳出(ふるさと納税に係る諸経費) 4億8,000万円

**令和2年度 ふるさと納税見込額  
8億円!!**

※歳入補正額は10万円でしたが、ふるさと納税の実績額が過去最高となったのでご紹介するものです。



**障害児通所支援費  
7,870千円**

障害児の通所サービス(児童発達支援・放課後等デイサービスなど)を支援

◆負担割合

国 1/2 県 1/4 町 1/4

# 12月定例会 一般会計等



## 学校保健特別対策事業 備品購入費(書画カメラ他)

928千円

新型コロナウイルス感染症対策に係る  
国(1/2)の補助事業。

## 地域医療介護総合確保 基金事業費補助金

12,601千円

住み慣れた地域で継続して日常生活を  
営むことを可能とするため、介護サー  
ビス提供体制整備の促進に係る補助金。

◆負担割合 県 10/10



## 第2水源地整備計画 用地購入費

19,329千円

今後の災害等に備え、大字椎木区域に  
第2水源地を整備する。

## 第8回定例会

### 総務常任委員会 付託審査

令和2年第8回定例会は、12月4日から7日間の会期で開催され、令和2年度一般会計補正予算など町長より提案されました全10議案を可決、同意しました。

〔一般会計補正予算関係〕  
（会計課）

●基金等の運用について

Q 運用については定期、国債等になるのか。

A 債権については地方債等公共的なもので信用度の高いものしか買わない。年間900万円位の債権利子の配当がある。

（福祉保健課）  
●成年後見制度にかかる中核機関設置準備とあるが、いつから開設されるのか。

Q 成年後見制度にかかる中核機関設置準備とあるが、いつから開設されるのか。

A 令和3年4月に児湯成年後見支援センターとして高鍋町の社会福祉協議会内に設置する予定である。

Q どのような業務を行うのか。

A 各町で相談を受け、児湯成年後見支援センターに取り継ぎ、成年後見等の手続の支援を行う。弁護士等への支援が必要な場合には、運営委員会に弁護士、司法書士、裁判所等が入っているので取り継ぐ形となる。

### 産業文教常任委員会 付託審査

〔一般会計補正予算関係〕  
（まちづくり推進課）

●ふるさと納税について

Q ふるさと納税ベスト3は、牛肉・絵本・酒類。ふるさと納税額は、昨年より同月比33%の増加。

A 牛肉・絵本・酒類。ふるさと納税額は、昨年より同月比33%の増加。

Q 企業版ふるさと納税の額は、1件 50万円（県内企業）。

A 1件 50万円（県内企業）。

●住宅住替補償費について

Q どんな補償費か。

A 池田住宅取壊しにより、他の町営住宅に転居する際に係る引越し費用やエアコン等の移設費用等を補償する。

〔特別会計補正予算関係〕  
（環境整備課）

●簡易水道事業について

Q 公有財産購入費・用地購入費1933万円とあるが、何の用地購入費か。

A 第2水源（大字椎木地区）の用地購入費（2筆分）である。

〔その他〕

（教育課）

●義務教育学校について

Q なぜ新校舎を中学校側に建てることになったのか。

A 検討会で体育館等の残す建物との導線を考えて決めた。避難所対策も考慮している。

Q 地域住民への説明会は行ったのか。

A 近隣住民には行っていない。今後時期をみて説明会を開催予定。



産文常任委員会審査

### 教育委員委員の 任命について「同意」

教育委員会委員に、牛田裕子氏（御池）が再任、同意されました。任期は令和2年12月26日から令和6年12月25日までの4年間となります。

#### ◆全員賛成で可決した議案等

● 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
● 木城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
● 令和2年度木城町一般会計補正予算(第8号)
● 令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
● 令和2年度木城町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
● 令和2年度木城町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
● 令和2年度木城町介護保険特別会計補正予算(第3号)
● 令和2年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
● 教育委員会委員の任命について
● 西都児湯情報公開・個人情報保護審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び西都児湯情報公開・個人情報保護審査会共同設置規約の変更について



総務常任委員会審査

# ふるさと納税の返礼品対策は

## 答 売り手・買い手・世間・生産者良しの四方良しの想いで取り組む



か い まさはる 議員  
甲斐政治

### 自主財源確保の対策は

**問** 小丸川発電所の固定資産が減少する中、自主財源も同様に年6%程度減少している。その中でふるさと納税が有効な財源確保の一手手である。ふるさと納税の返礼品の開発や二入対策は万全か。

**答** 町長

ふるさと納税の返礼品につきましては法令遵守、品格のある納税事業に取り組んでいる。間接的な取組みでPR事業、開発の支援事業を設けており、27事業者が220品目を提供している。元年度は6億2100万円の納税がある。

**問** 商品開発は誘致企業においては自社でできるが一般には難しいので、農産加工施設を使用できる構想はないか。

**答** 町長

喜界町の例で言えば利用できる曜日、時間を調整して6次産業化をしている。いつかの時点で特産加工施設の運用、活用を考えるべきと思う。

**答** 産業振興課長

保健所によると同一品目であれば保健センターの調理場、

宮崎県食品開発センターの加工グループやフード・オープンラボがある。

**問** 誘致企業に伺ったところ年1回の懇談会がある。今後、目的を設定した懇談会にしたら、商品開発等も進むのではないか。

**答** 町長

創造的な事業展開や様々なノウハウを持つている事業者との異業種交流は大切。ふるさと納税の商品開発に向けての話し合いの場として検討したい。

**問** 町内には眠っている財源があると思うが、これを掘り起こし、仕掛けをするための醸成を図ることが必要ではないか。

**答** 町長

ふるさと納税については売り手良し、買い手良し、世間良しと生産者良しの四方良しの想いで取り組む。

### 基盤整備への取組み

**問** 後継者不足、減反等農業を取り巻く環境は厳しい。農地を保全し担い手の負担軽減や効率化を図る基盤整備に取組む考えはないか。

**答** 町長

当然考えなければならぬと思う。しかし受益者負担が伴う

のが問題である。生産農家、耕作農家、地主等の合意とか同意を得たうえで進めたい。受益者負担をできるだけおさえるのがポイントである。

**答** 産業振興課長

農地の基盤整備になると集積、集約が条件になる。確実に担い手が主体になることが大事。新たな人・農地プランの実質化に沿い担い手に農地を流動化するような形で農地基盤整備を図る。

**問** 本町における人・農地プランの実質化の工程は遅れていないのか。

**答** 産業振興課長

現地で説明を続け広谷地区が最後です。このことから本町が遅れていることはありません。

### スマート農業については

**問** スマート農業はこれからの農業の形と思われるが、高額な投資なため導入や支援は限定的と思われる。只、公益的な事業団(例えばグリーンサービスコ(スモス)等に支援できれば農家の農薬散布の負担軽減や収支の改善にも繋がると思うが。

**答** 産業振興課長

経営会議でも積極的に捕らえ

ております。行政主導ではなくコスモスが主体性を持って取組んでほしい。

**答** 副町長

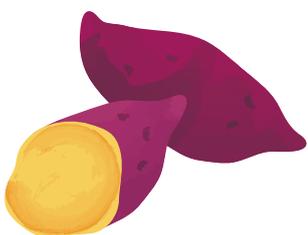
地域農業の担い手の下支えの役割は増大していくと考えられる。効率的、効果的な受託作業の手段として諸般の事情も考慮して検討したい。

### 甘藷の基腐病対策は

**問** 今般、甘藷の基腐病が農家の生産や所得を脅かしているが対策は講じているのか。

**答** 産業振興課長

病気を抑えることは困難である。焼耐用の取引量は鹿児島県や県南の基腐病の関係で激減することなく確保できた。今後は焼耐原材料甘藷主体からではなくジュースや青果用としての転換も考え農家を守っていきたい。  
【意見】来年度の転作数量等の情報は早めに出していただき作付けが困らないよう配慮いただきたい。



# 今後の町道整備は

## 答 維持修繕を検討する



なかたけ よしお  
中武 良雄 議員

**問** 山間部の町道には停車帯やカーブの拡張、路肩の補強が必要だがどう考えているか。

**答** 町長

今後は、道路をいかに長く使うか維持修繕する。現場を見て費用が掛からないものはすぐに取り組むがそれ以外は検討する。

**問** 山間部では落石が多い。特に祇園滝は落石が多く観光地としての活用がされていない。落石防止対策はできないのか。

**答** 環境整備課長

モルタル吹付かネット張りがあがる費用が高い。再度現場を調査してできることを考える。

**問** 県道、東郷西都線の松尾ダム上の橋の建設、トンネル建設の計画はどうなっているのか。又県に対してどのような要望をしているのか。

**答** 町長

他の路線に比べれば改良は進んでいると思っているが、橋を架けるとかトンネルを抜くという計画はあったが先延ばしという計画どおり行かないと聞いている。県に対しては2市2町の期成同盟会で3つの要望をしている。1つ目は松尾工区の早期完成、2

つ目は未改良区の整備、3つ目は道路財源の確保を行って道路整備をして頂きたい。

### 交通対策は

**問** 高齢者の免許返納者に対して町から何か特典はあるのか。

**答** 総務財政課長

免許返納者に対する特典よりその代替策として乗り合いタクシー「あおぼと」号を令和2年10月より本格運行している。今後は木城町独自の免許返納者に対する有効的な特典の検討を行う。

**問** 乗り合いタクシーの運行が始まり町民より町外への運行の要望が出ている。特に本町は医療機関が少なく町外に出る機会が多い。将来に向け何か対策の考えは。

**答** 町長

現在の公共交通機関を全く考えないわけにはいかない。しっかりと検証しながら検討する。

**問** 宮崎市では、1日乗り放題の乗車券が宮交で実施している。本町ではできないのか。

**答** まちづくり推進課長

宮交バスの割引券は本町でも利用できる。

**答** 町長

現在、宮交には400万円弱の維持費を出しておりますがあまり宮交バスの利用がなく赤字路線であります。高齢者に限って何か手立てをしなくてはいけない大きな課題である。鋭意検討していく。

### 義務教育学校建設の総工費は

**問** 来年より始まる新校舎建設に係る総工費の予定額は。

**答** 教育課長

現在実施設計に入っている。おおよその総工費として令和3年度より5年度にかけ約30億4300万円を見込む。

**問** 名称の「みどりの杜」にふさわしく校舎の内装材に木城産の杉、ヒノキ材の使用の考えは。

**答** 教育課長

今後の設計の段階で検討していく。

**問** 新校舎建設費用の財源は。

**答** 総務財政課長

国庫支出金として総事業費の約11%3億1400万円、町債として総事業費の約60%18億1700万円、借入金として総事業費の約26%8億円、その他の一般財源として総事業費

の約3%1億2000万円を予定している。

**問** 償還期間は何年を考えているのか。

**答** 総務財政課長

35年を計画している。

**問** 当初、旧校舎はすべて解体であったが現時点での考えは。

**答** 町長

先般9月の台風10号の教訓を活かし、施設の有効利用を考え災害避難所も併せて検討すべきとなり南側の1棟を残す考えである。



中之又祇園滝広場



久保 富士子 議員

# 公営住宅保証人の なり手不足の対策は

## 答 随時見直しはしていきたい

**問** 保証人の確保が壁になって公営住宅に入居できないような事例が後を絶たないと全国的に問題になっているが本町の状況はどうか。

**答** 町長

本町の場合、保証人の確保が直接の原因で公営住宅に入居できないとは思っていない。更新時や転入時の保証人の確保に苦慮していることは承知している。

**答** 環境整備課長

全国的に単身高齢者増加等により保証人確保が難しくなっているとの報道等があるが、本町でも今後、同様な状況になってくるとの認識はある。

**問** 民法が改正され、保証契約の上限額が設定されたことにより、今後保証人の確保が難しくなると思われるが考えは。

**答** 町長

連帯保証人の役割の保証の部分の上限が設けられたことで、逆に連帯保証人の確保が容易になったと思う。

**問** 保証人の確保の規定を廃止する自治体が相次いでいるが、本町の考えは。

**答** 環境整備課長

地域の状況に応じて見直しを

進めて行く事だと考えている。

**問** 少子高齢化や核家族化が進めば保証人確保が難しくなる為、県は4月から連帯保証人の入居要件を1名に緩和したが、本町の考えは。

**答** 町長

国から、地域の実情等を総合的に勘案しての見直しの通知が来ている。住宅困窮者が入居しやすいように、連帯保証人の在り方について随時見直しはしていきたい。

### 災害時の避難の在り方は

**問** 台風10号時の避難場所について、コロナウイルス感染拡大予防の為、3密を避け、避難できる施設の確保は十分にできていたか。

**答** 町長

3密を避ける避難行政運営を心がけた。

**答** 総務財政課長

可能な限り多くの避難所を開設する準備を行い、12か所の避難所を開設。避難所の確保はできていたと思う。

**問** 各避難施設の収容人数や避難者数の予測の対策はできていたのか。

**答** 総務財政課長

地域防災計画で想定している人数の4分の1から3分の1が受け入れ可能な収容人数であると判断している。

**問** 高城地区側の避難施設が少なくと思うが考えは。

**答** 町長

財政的余裕がないので、専用の避難施設を造る考えはない。今ある施設を利用していく。

**問** 町民の避難先の聞き取り調査を事前に行うことで分散避難者と避難所利用者の数が把握でき避難所運営にも役立つと思うが考えは。

**答** 総務財政課長

実施するのは難しい。様々な情報を各個人でしっかりと把握して貰い、早めの避難をお願いしたい。

**問** 高齢化が進む中、地区（公民館単位）ごとに避難所の設定をした方が安否確認もスムーズに出来ると思うが考えは。

**答** 総務財政課長

色々なことを想定しながら、今後検討していきたい。

**問** 最近避難訓練が行われていないが、今後予定はあるのか。

**答** 総務財政課長

コロナ禍においての避難訓練は難しいが、可能な時期に

なれば計画する必要があると考える。

### ジャンボプレミアム商品券について

**問** 経済的余裕のある世帯優遇ではないかと言う声も町民から聞かれるがどの様な考えか。

**答** 町長

町民からの声は真摯に受け止め、改善すべき所は改善していきたい。

**問** 公平性の観点から全町民一律に商品券を配布したらどうか。

**答** 町長

状況を見て判断したい。



# 活性化のために地元利用を



議員 森 伸夫

**町内経済の状況と支援対策は**  
**問** コロナ禍以外の経済的要因も含めて収入が減少している町内産業の実態と今後の支援対策は。

**答** まちづくり推進課長  
 商工会のアンケートによると全体業種に減収の影響があり、特に飲食店と宿泊業への影響が大きい。今後も国県並びに関係機関と連携し支援対策を行う。

**答** 産業振興課長  
 農林畜産業もコロナ禍の影響を受け減収となった。お茶はコロナ禍以前から家庭での消費の落ち込み等で厳しい状況が続いている。

**答** 町長  
 コロナ禍は、全町民に影響を及ぼしている。財源の問題もあるが、国、県と併せて対策を講じたい。

**問** 活性化のために町内で賄えるものは町内を利用する事が大事だと思うが。

**答** 町長  
 町内の経済を活性化して行く事が大事であり、商工会でも地元利用の啓発活動を行っている。しっかりと応援したい。

**〔意見〕農畜産業は町の基幹産業であり町内農畜産物の消費拡大運動を継続的に行う様に希望する。**  
**新型コロナウイルス感染症防止対策は**

**問** コロナ禍に翻弄された2020年、現時点での感染防止対策は。

**答** 福祉保健課長  
 県内でも連日感染者が発生し職場と会食が70%となっている。基本は日頃の体調管理とマスクの着用であり手洗い消毒や3密を避け大声を出さない。また、十分な換気等持続的な新しい生活様式の実践を町民へ周知徹底する。

**問** 止むを得ず県外に行った場合は、どのような認識を持つべきか。

**答** 福祉保健課長  
 他県へ往來した後の行動は、今のところ個人の判断となるが高齢者や子供の集まる場所には2週間程度は自粛することが必要。

**〔意見〕感染リスクへの意識レベルを引き上げ、一人一人が「ウツラナイ」「ウツサナイ」行動をとり、基本の感染防止対策を地道に実践して行く様に町民への息の切らせない指導を希望する。**

**令和2年度と3年度の税収予測は**  
**問** 令和2年度末と3年度の税収減少をどう予測しているか。  
**答** 税務課長  
 現時点での令和2年度末見込みは、

法人町民税が減少すると考えている。また、令和3年度の税収は、コロナ禍により法人個人町民税と固定資産税の影響を受け、大規模償却資産税の経過減少を含めると大きな税収減になると考える。

**令和3年度予算編成は**  
**問** コロナ禍が収束の見えない経済低迷の中で町民を守る対策が重要。令和3年度のコロナ禍対応予算をどう考えるか。

**答** 町長  
 コロナ対策は、国からの補正内容が示されていないが相応な財政規模を予想している。現在、取りまとめ中だが必要な対策は前もって町費での予算編成としたい。

**問** 各課の予算要求案は単純に過年度の踏襲予算になっていないか、町の活性化のための予算編成を意識し内容を吟味し見直し創意工夫をする体制となっているか。

**答** 総務財政課長  
 事業目的を明らかにし積算基礎の算定は正確に、財源補足を誤らない、業績コストの適正化を心がけ、予算方針に基づいた予算要求を各課に指示している。

また、前年度実績の検討は、課全体で事業評価を共有し改革、改善を図る事で、より効率的な行政運営のための予算編成としている。

**問** 各種補助事業は、補助金を受けずに自立する時期にあるもの、見直しが必要な案件もあると考えるが、どの様に事業査定するのか。

**答** 町長  
 令和3年度の当初予算は三役査定の前に厳密な副町長査定を実施し、町民がより良いサービスを受けられる予算編成としたい。

**問** 予算案は全て検討され予算化出来る体制となっているか。

**答** 総務財政課長  
 町民からの要望を含め内容を検討し課内協議を経て予算要求を提出し、町長に報告していると認識している。

**問** 人口減少にあらがえない状態にあり、少子高齢化の中で確実に人口減少が起きている。税収の減少と福祉サービス等に大きな負担が必要となり、次世代に将来を託すためにも負のスパイラルにならない予算編成として頂きたい。

**答** 町長  
 対策は講じて行くが人口減少は避けられない、減少幅を緩やかにして行くのが政策と考える。あらゆる挑戦と実行をして行きたい。  
**〔意見〕想定外のコロナ禍で大変な状況にあるが、真に町民のための将来のための予算編成となることを期待する。**

# 議会活動報告

## 10月

- 1日 議会全員協議会
- 議会広報編集特別委員会
- 第36回木城町肉牛枝肉共励会表彰式 (議長)
- 4日 第122回木城小学校秋季大運動会 (正副議長)
- 7日 議会広報編集特別委員会
- 8~9日 児湯郡(市)町村議会議長会議長・事務局長行政調査 (議長)
- 10日 石井記念のゆり幼児園第1回運動会 (議長)
- 11日 第74回木城中学校体育大会 (正副議長)
- 12日 議会広報編集特別委員会
- 16日 宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会(議長)
- 19日 指定管理施設に係る勉強会

- (議員7名)
- 新田原基地周辺協議会要望活動 (議長)
- 木城町の農業を考える会 (副議長・産文常任委員)
- 21日 新田原基地対策特別委員会(新田原基地対策特別委員)
- 県道東郷西都線整備促進期成同盟会県庁要望活動 (議長)
- 29日 宮崎県町村議会議長会議長臨時総会 (議長)
- 30日 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 木城町商工会要望活動来庁 (議長)

## 11月

- 1日 都農町町制施行100周年記念式典 (議長)
- 2日 第2回西都児湯環境整備事務組合議会定例会 (議長・総務常任委員長)
- 第2回一ツ瀬川宮農飲雑用水広域水道企業団議会定例会 (議長)
- 4日 第6回木城町議会臨時会

- 5日 宮崎県町村議会議長会幹部議員研修 (正副議長)
- 11日 第189回宮崎政経懇話会児湯・西都地区例会 (議長)
- 12日 児湯郡(市)町村議会議長会定例会 (議長)
- 13日 新田原基地周辺協議会 (議長)
- 14日 木城町民文化祭「生涯学習のつどい大会」(全議員)
- 16日 西都児湯森林・林業・林産業活性化議員連盟連絡会議役員会・総会 (議長・産文常任正副委員長)
- 18日 宮崎県町村議会議長会広報研修会 (議長・産文常任正副委員長)
- 20日 議会運営委員会
- 26日 宮崎県建築協会要望活動来庁 (議長)
- 30日 第7回木城町議会臨時会
- 議会運営委員会

## 12月

- 4日~10日 議会全員協議会
- 議会広報編集特別委員会
- 宮崎県町村議会議長会役員・監事合同会 (議長)
- 4日~10日 第8回木城町議会定例会
- 21日 議会広報編集特別委員会
- 24日 議会広報編集特別委員会
- 25日 東児湯消防組合議会定例会 (議長・総務常任委員長)
- 高鍋・木城衛生組合議会定例会
- (副議長・総務常任委員長・黒木監査委員)

### 請願第5号 木城町有害鳥獣駆除に関する 請願書

令和2年11月17日に永澤秀夫氏(木城町大字高城)外6名の賛同者より請願書が提出されました。内容は、有害鳥獣対策として、新たな自衛班組織の確立や捕獲に対する報奨金制度、また、駆除した鳥獣の焼却場の設置などを求めるものでした。受理された請願書は、第8回定例会にて付議され、産業文教常任委員会に審査付託されました。

審査の結果、一部採択となり、全員賛成で可決されました。被害に苦しむ町民の声に耳を傾け、現在の政策や制度に公平性・有効性が確保されているか、今一度検証する必要があると考え、町民と共に協議し、実現するために協力しあうことをお願いしました。木城町議会は、今後の処理経過や結果の報告を求めていきます。

**日米共同訓練に参加する米軍人の新田原基地内宿泊を求める要望書の提出**

本年10月26日から11月5日に新田原基地で実施された日米共同訓練について、新田原基地対策特別委員会(委員長 原博)は、内閣総理大臣、防衛大臣、九州防衛局長外に対し、基地内宿泊を求める要望書を提出しました。今回の訓練については直前になっての情報開示であり、また、基地内宿泊施設が整備されているにも関わらず、新型コロナウイルス感染症対策が十分とれないことから、宮崎市の宿泊施設を使用するなど、基地周辺住民の不安を煽るものでした。委員会として、基地内宿泊はもとより、この一方的な措置に対する説明責任と、周辺市町の意見を尊重するよう要望しました。

# 木城っ子たちの活動の様子



令和2年は新型コロナウイルス感染症により、様々な催しが中止となりましたが、保育園や学校もそれぞれに工夫し、参加者の制限はありましたが、クリスマス発表会や持久走大会などたくさんの行事が行われました。コロナに負けない子どもたちの様子をご紹介します。

めばえ保育園



どんぐり保育園



めばえ保育園



どんぐり保育園



めばえ保育園



どんぐり保育園



木城小学校



のゆり幼稚園



木城小学校



のゆり幼稚園



木城小学校



のゆり幼稚園



木城中学校



木城中学校



木城っ子の活動写真

# まちの話題

TOWN TOPICS

## 生涯学習のつどい大会

讃嘆式



子供レクダンス



木城中学校実践発表



糸数先生の講演



『見つめ直そう地域の学び  
学び直そう地域の学び』  
昨年11月14日（土）、リバリ  
スにおいて「生涯学習のつどい  
大会」が行われました。

当日は、讃嘆式（表彰式）  
が行われ、4名の方と木城中学  
校の柔道部が表彰されました。  
実践発表では子供レクダン  
ス、オカリナ演奏、木城中学  
校2年生女子3名による「総  
合発表・木城の魅力発信」が  
行われました。沖縄県うるま  
市との交流や木城えほんの郷  
などの木城の魅力のスライド  
を使って発表し、とても素晴  
らしい内容となりました。

最後は、どんぐりこども診  
療所所長の糸数 智美氏によ  
る「メディアと子どもたち」と  
題しての講演がありました。  
テレビに始まり、今ではパソコ  
ン、携帯電話等の普及により、  
家庭のコミュニケーションが少  
なくなり、孤立しがちになって  
いると実例をもとにお話があ  
りました。当日はPTAの方々  
も大勢来場され、素晴らしい  
大会となりました。

### 議会傍聴メーター

2019年3月議会から  
議会傍聴に来られた人数です。

149

議長  
神田直人

発行責任者

委員長 中武良雄  
副委員長 森仲夫  
委員 久保富士子  
委員 黒木泰三

編集委員

## 議会傍聴をしてみませんか

次の定例議会は**3月**です。定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。

TEL **32-2213** (直通)

木城町ホームページに  
議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧いただけます。

〈URL〉 <http://www.town.kijo.lg.jp>

